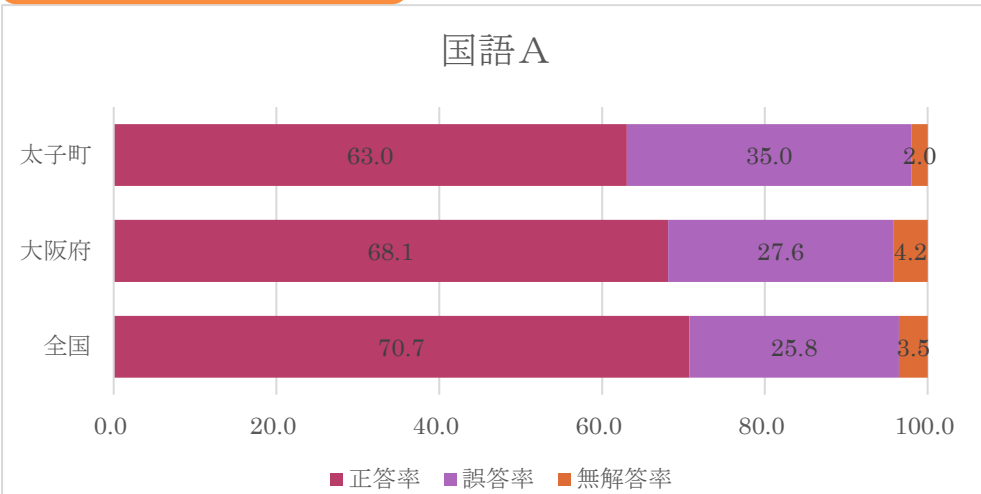


平成30年度 全国学力・学習状況調査

国語 A

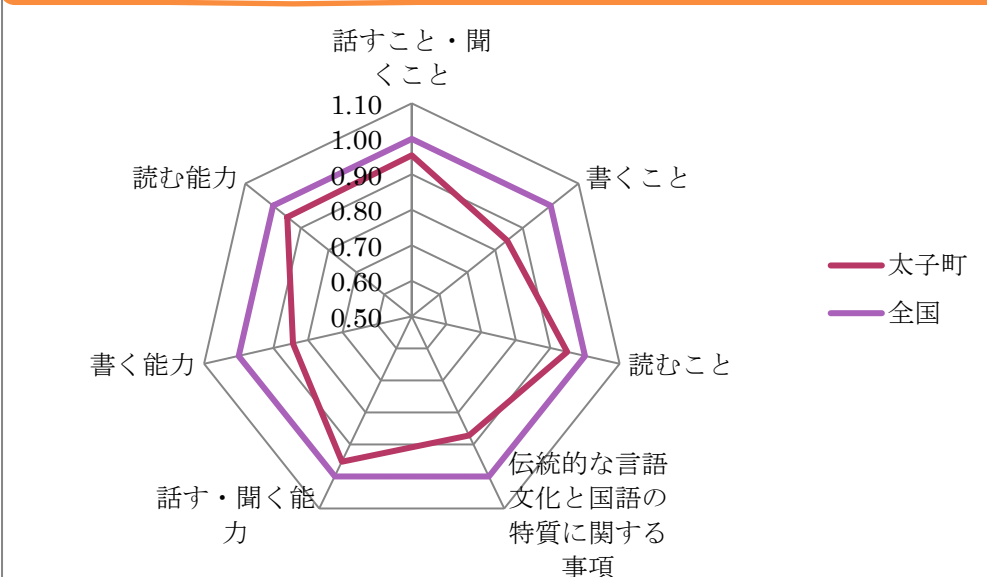
正答率比較



全国の平均正答率が70.7%であるのに対し、太子町の平均正答率は63.0%であり、-7.7ポイントという結果であった。

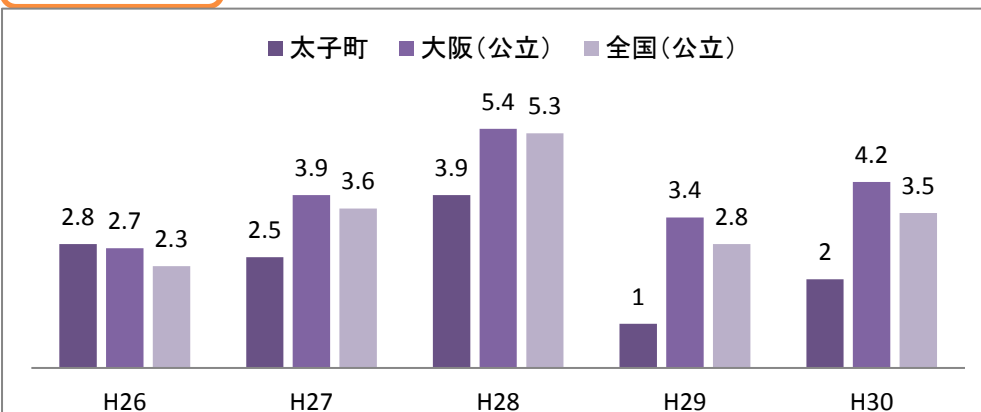


全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全国平均と比べ、全体的に課題が見られる。特に「書くこと」「書く能力」に課題が見られ、改善が必要である。相手や目的、意図に応じて、自分の考えを明確にして書くこと、また、下書きをよりよく推敲するなどをを行い、書く能力を高めることが求められる。

無解答率



平成29年度と比べ、1ポイント増えたが、経年比較すると減少傾向である。全体的に最後までやりぬく姿勢が見られる。



成果と課題

無解答率は、減少傾向である。

一方で、「主語と述語の関係」など、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項の内容においても課題が見られた。基礎基本の習熟も含め、府教材「ことばの力」の活用など、小学校6年間全体での対応が必要である。

